

教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および
教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

提出 令和6年8月19日

志摩市議会議長 中村 孝司 様



紹介議員 小河 光昭

請願者

〒517-0501
志摩市阿児町鵜方1775
鵜方小学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

中島 英之



〒517-0501
志摩市阿児町鵜方3347-2
文岡中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

小环 和浩



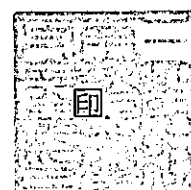
〒517-0703
志摩市志摩町和具314-1
志摩小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

山岡 幸雄



〒519-0505
伊勢市小俣本町3 小俣町合同会館内
三重県教職員組合南勢志摩支部
支部長

出口 晴之



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう市議会において本請願を採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

教職員が心身ともにゆとりを持って子どもたちと向きあい、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものです。

2021年4月、国の学級編制の標準が40年ぶりに改善され、小学校35人学級が段階的に実現することとなりました。2024年度の教職員定数については、小学校高学年における教科担任制の推進、定年引き上げにともなう特例定員による定員増という対応になりましたが、教職員の自然減を大きく上回るものではなく、全国的に「教員不足」、「教職員の未配置」の問題は深刻です。

三重県においても、2023年度以降、4月当初から欠員が生じており、その状況は学期を追うごとに増加する傾向にあります。（2024年1月現在、未配置65人、非常勤での補充109人／三教組調べ）本来、満たされるべき定数の教職員が学校現場に配置されていない現状は、子どもたちの教育にも直接影響をおよぼす課題であり、このままでは子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することは難しくなります。

すべての子どもたちが安全・安心に学べるようにするために、教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行およびすべての校種における新たな教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれます。

一方で、家庭の現実を目を向ければ、光熱費や物価等の生活費の高騰による保護者の負担増など、家計に厳しい状況にあります。くわえて、児童・生徒の減少により、修学旅行や社会見学の費用が増加する等、従来の教育活動を維持していくにも、新たな保護者の負担が生じることが懸念されます。少子化がすすむ志摩市においても、子育て世代の私費負担が増加することは、さらなる少子化につながる可能性があります。

教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、多くの教育課題の解決のためには重要な施策であり、そのことが子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することになると考えます。

以上のような理由から、教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。